

生目地域まちづくりプラナ



生目小まつり事業



浦之迫池（浮田）



ピオトープにやってきたカワセミ
（生目中前）



石橋（下富吉）



ピオトープ夏



宮崎市編入合併50周年記念式典

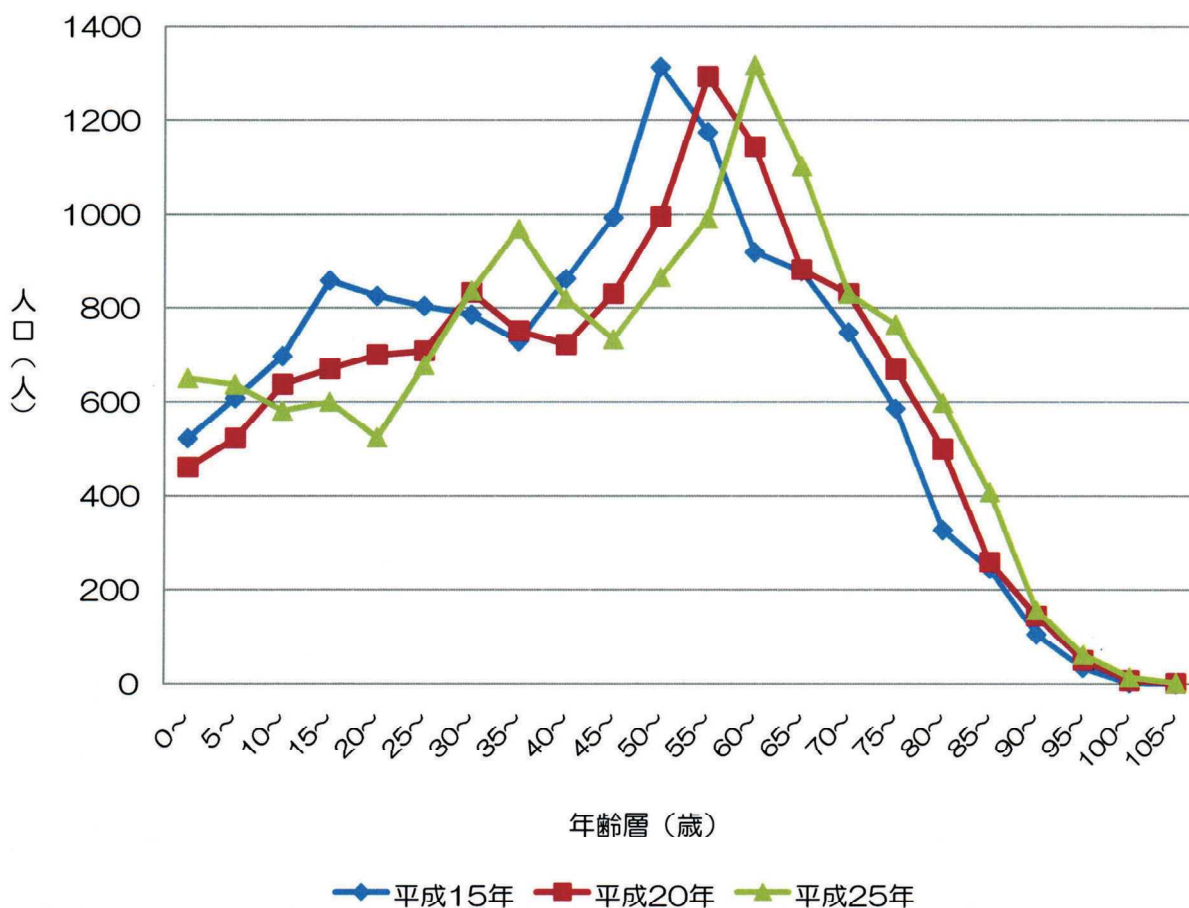
平成25年12月
生目地域自治区地域協議会

1. プランの策定趣旨

生目地域自治区は、平成21年12月から2年半にわたり生目地区まちづくり構想検討委員会において、生目地区のまちづくりを検討してまいりました。その結果、『自然と歴史がふれあう快適なまち“生目”』を将来像とする「生目地区まちづくり構想」を作成しました。

この構想をもとに、向こう10ケ年を見据えたプランを策定し、広く地域住民の皆様所周知するとともに、次世代を担う子供たちから高齢者の方々まで、まちづくりに関心を持っていただき、活動に参加いただくことが、今後の生目地区の魅力創造する重要なカギとなります。

生目地区 5歳階級別人口の推移



生目地区は、平成15年には人口14,020人が、7年後の平成21年には13,551人と減少傾向でありましたが、住宅団地等により14,137人と微増に転じています。一方高齢化率は、平成15年20.9%、平成25年には27.8%と増加しています。このままでは、10年後、35%台を迎えることが予想されます。

2. 生目地区の現状



まちづくりをすすめるにあたっての課題

- ・ 地元到店が少なく、車を運転できない人の買い物が不便。
- ・ 少子・高齢化が進行しており地域活力の低下が懸念される。
- ・ 宮崎市街地に隣接し、交通条件が良好な都市近郊型の農村地域であるが、路線バスの利用に不便である。
- ・ 地区内には、貴重な歴史・文化資源が数多く残っているが、生目神社以外は地区内外で十分に知られていない。
- ・ 農家や商店経営者の高齢化が進行しているとともに、後継者不足がみられる。
- ・ 地区の大部分が市街化調整区域であることから、地区内外の人が一般住宅を建築できない。
- ・ 地域内の生活道路は、幅員が狭く未整備の箇所が多い。
- ・ 有害鳥獣の被害が出ている。
- ・ 河川氾濫等による災害危険区域や急傾斜地等の災害危険箇所に指定されているところが多い。

3. 将来像と基本目標

①目標とするまち像

『自然と歴史がふれあう快適なまち“生目”』

生目地区の貴重な財産であり、住民の生活を支える恵まれた自然、歴史文化、スポーツレクリエーション環境、田園景観などの個性を活かした生目らしさを発揮して、まちづくりに取り組みます。

②計画期間

目標とするまち像の計画期間は、平成26年度を初年度とし、おおむね10ヶ年間の計画とします。

③基本目標

基本目標 1

・ 地域の**絆**づくり

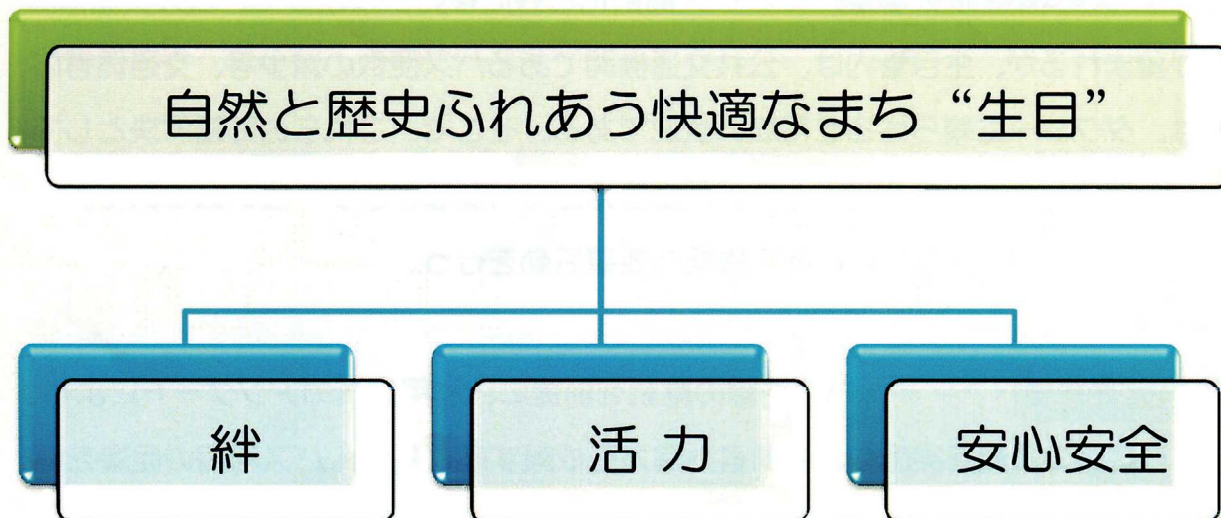
基本目標 2

・ 地域の**活力**づくり

基本目標 3

・ 地域の**安心安全**づくり

この基本目標は、生目地区まちづくり構想理念に基づくものです。



4. 基本目標達成のための主要施策

基本目標 1

・地域の絆づくり

生目地区は、宮崎市街地に隣接し、交通条件が良好な都市近郊型の農村地域であるが、人口減少や少子高齢化の進展が避けられない状況の中、近い将来、高齢化率35%を超えることが予想され、自治会加入率低下の要因となると共に、地域におけるコミュニティ保持が大変懸念されている。

過去の水害や、口蹄疫の発生当時、『生目はひとつ』という言葉のもと、住民の自主的な活動などを通じ、地域には固い絆が保たれていた。

今後、地域の児童・生徒、高齢者など、枠にとらわれない住民参加型事業を理念とする、文化継承事業、福祉事業、三世代交流事業、体験型学習事業などを実施し、地域間・世代間の交流を深め、更なる絆づくりに取り組む。

伝統ある歴史文化の保存と継承

里神楽事業・・・生目地区には、数多くの神社があり、それぞれ神楽、浦安の舞が、地域住民において伝承しているが、舞手不足で伝承すら危ぶまれるところもある。

このような中、小・中学生に神楽、浦安の舞を、伝授・伝承を行う必要がある。また、生目地区の神楽を、生目地区以外の多くの人々にも観賞してもらい、神楽の良さを広めるため神楽解説書の作成を行う。

高齢者・要支援者を地域ぐるみで支える福祉のまちづくり

移送サービス等調査研究事業・・・高齢化と共に移動手段として、公共交通機関の利用が望まれるが、生目管内は、公共交通機関であるバス便数の減少等、交通弱者にとっては、タクシーに頼らざるを得ない状況である。そこで、これらの問題解決として、アンケート調査、先進地事例調査を行い、生目地区で可能な移送サービスについて調査研究を実施し、その結果をもとに関係機関へ要望活動を行う。

バス利用促進事業・・・バス路線の継続を前提に、利用者へのアンケートによる便数、運行経路の調査を実施し、事業者へ協力を依頼すると共に、バス利用の促進を地域住民に積極的に働きかける。

(生目地区バス利用促進協議会と連携)

地域における青少年育成保護事業を通じて各世代間の交流の輪を広げる

ふれあい交流会事業・・・外出する機会の少ない体の不自由な方、高齢者の方、小学生が一同に会し、生目地区社会福祉協議会を中心に、誰でも参加でき、心からふれあえる交流会を行う。

生目音頭保存事業・・・「生目地区の住民なら“生目音頭”はだれでも踊れる」を目標に、生目音頭保存会が中心に、各地区に指導者を育成し、生目地域住民の全員が踊れるように普及を図る。特に、小・中学校の運動会や地域イベント等では、必ず生目音頭を踊り、生目音頭解説版DVDに収録し、各自治会、団体に配布する。

生目小まつり事業・・・生目小児童、保護者以外の地域の方々、学校との連携も希薄になりがちである。このまつりを通じ、学校と地域の繋がりをつくり、世代間の交流を図る。

ふるさとまつり事業・・・生目地区のまつりイベントを継承すると共に、“見るまつり” “参加するまつり” “心に残るまつり”を目的とし、子どもから高齢者まで、交流できるまつりを行う。



ふるさとまつりの様子

昔懐かしい技巧伝承事業・・・生目に伝わる漬物、郷土料理、味噌づくり、竹細工、わら細工など、高齢者から若者や子ども達へ技巧伝承を行う。

生目の杜体験学習事業・・・生目には、身近に生目の杜運動公園及び遊古館の公共施設がある。子ども達を中心に、これらの充実した施設を活用した体験学習を行う。

花いっぱい事業・・・生目地区は、公共施設をはじめ各自治公民館などにおいて、子どもから高齢者まで交流の一環として、花いっぱい運動を展開しており、毎年、フラワーコンテストを実施している。今後は、沿線道路沿いの遊休地及び耕作放棄地へ、菜の花、コスモスなどを植栽し、更なる運動を展開し、「生目と言えば花のまち」と言われるようなまちづくりを推進する。

基本目標2

・地域の**活力**づくり

多様で豊かな文化財や史跡、伝統文化を、風化、埋没させないため、地域で掘り起し、保存、継承できる事業を積極的に展開するとともに、地区内外への情報発信を行い、魅力的な生目の『たから』を活かした地域の活力づくりを、住民みんなで推進する。

また、住民の参加、交流事業に取組み、文化振興はもちろん、各地域の実情に適した総合的な取り組みを行い、更なる地域活力の向上を目指す。

地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり

文化財掘起し事業・・・生目には、九州最大級の生目古墳群をはじめ、様々な文化財が点在している。これ以外に、石橋、石蔵など数多くの歴史的価値の高いものが存在している。これらを調査し、案内板やパンフレット等の作成を行い、生目の杜運動公園を発着点にフットパス(ウォーキング)や自転車での巡回コースを発掘する。



石蔵（柏原）

自然と環境を守る事業・・・里山には、ため池をはじめ、森林があり、動植物の観察など、自然に触れることができるすばらしい生目を体験できる。大谷川河川堤防から里山への遊歩道を整備し、自然豊かなふるさとを再発見する。

ビオトープ事業・・・街なかの休耕田を、自然に近いかたちに整備することで、動植物の生態系を、身近に観察できる場を提供する。

半ぴどん顕彰事業・・・地域に実在した『半ぴどん』を、地域おこし・まちづくりに登用する。また、『半ぴどん』のゆるキャラを作成し、地域のイベントや各種事業等に活用し、地域に定着させると共に、生目のイメージキャラクターとして発信する。

ブルーベリー女性部事業・・・生目地域女性の親睦と学習の機会を設け、情報交換を行い、部員数の拡大を目指すと共に、生目の特産品の開発、食の改善などを目指し、地産地消に取り組む。

まちづくり交流事業・・・生目地域以外のまちづくり推進委員会との意見交換会・互いの事業への参加などで、交流を深め、生目地区まちづくりの活力を生み出す。

基本目標3

・地域の**安心安全**づくり

安心安全なまちづくりを目指し、防災・防犯に関する事業を実施すると共に、住民参加による防災訓練や見守り事業、防犯パトロールなど、各種の予防活動を行う。

防災事業を通じ、自分たちの命は自分たちで守るという住民の防災意識の向上を図ると共に、地域ぐるみで、災害から人命・財産を守るため、自助、共助の大切さを認識し、危機対応能力の養成による防災・減災に繋がる活動を目指とする。



防災訓練事前研修の様子

地域の防犯、防災、交通安全等への取組

地域防災事業・・・平成17年の台風災害を教訓に、毎年9月第1日曜日を防災の日と定め、「自分たちの命は自分たちで守る」を合言葉に、様々な訓練を重ね、防災に強いまちづくりを目指す。更に、災害用備蓄品と保管場所の検討や、アマチュア無線活用についても調査研究を行う。

急傾斜区域家屋建替え事業・・・急傾斜区域に建つ家屋を、安全な場所に建替えを望む居住者の実態を把握し、関係機関に要望する。

生目っ子見守り事業・・・「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、通学路の環境整備や登下校時の交通安全及び犯罪等を抑止する活動を行う。

防犯パトロール事業・・・青色回転灯を装備した車で、生目地区管内を巡回し、地域住民の防犯意識を高め、住み良い地域づくりを目指す。

有害鳥獣被害防止事業・・・有害鳥獣の餌場にならない、させない環境づくりを地域住民一体となって取り組む。

5. 社会資本整備について(10年間の整備目標)

① (仮称)生目交流センター拠点施設の整備

(災害時の避難所を兼ねる)

② 生活連絡道路の幅員4m未満の道路改良整備

③ 大谷川両岸の管理道路整備 (遊歩道・健康ウォークの活用)

④ 児童公園・緑地広場の整備

⑤ 地震に強いため池の整備

⑥ 集落拠点区域、物流・工業拠点区域の整備

⑦ 生目ならではの地場産品直売所

社会資本以外

① 中学校の校区編成の見直し

② 文化財の整備保存

6. その他

参考資料

- ・ 住民基本台帳人口 生目管内5歳階級



石 橋

住民基本台帳人口（日本人のみ） 生目管内（5歳階級・3区分）

参考資料

区 分	総数	0～	5～	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～
15	14,020	522	608	697	859	826	804	786	729	863	993	1,313
16	13,921	499	613	668	825	765	822	801	723	816	936	1,239
17	13,862	490	579	673	788	743	796	832	710	802	912	1,178
18	13,665	439	550	682	743	709	770	799	702	775	874	1,087
19	13,618	426	537	668	701	695	765	807	718	743	847	1,039
20	13,609	461	522	637	670	700	708	833	751	722	830	995
21	13,551	472	523	623	652	651	668	770	811	716	803	929
22	13,616	529	518	599	634	656	663	783	857	694	799	904
23	13,778	585	530	594	635	632	684	831	878	728	772	877
24	13,959	634	550	604	617	590	683	853	933	762	758	847
25	14,137	650	637	581	600	524	678	837	969	819	733	866

区 分	55～	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100～	105～	年齢不詳
15	1,175	919	879	748	586	327	245	105	34	2	—	—
16	1,270	978	853	769	623	350	222	113	35	1	—	—
17	1,309	1,018	831	769	663	375	230	123	38	3	—	—
18	1,423	971	842	794	678	412	245	124	41	5	—	—
19	1,395	1,021	871	817	664	478	229	142	50	5	—	—
20	1,293	1,144	882	831	669	500	259	144	50	7	1	—
21	1,246	1,251	938	805	677	545	272	141	50	8	—	—
22	1,187	1,290	968	788	686	559	293	140	60	9	—	—
23	1,078	1,407	929	811	718	570	302	146	60	11	—	—
24	1,064	1,371	963	835	741	567	367	142	66	12	—	—
25	990	1,316	1,103	830	764	598	408	156	62	14	2	—

区 分	再掲			構成比 (%)		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
15	1,827	9,267	2,926	13.0	66.1	20.9
16	1,780	9,175	2,966	12.8	65.9	21.3
17	1,742	9,088	3,032	12.6	65.6	21.9
18	1,671	8,853	3,141	12.2	64.8	23.0
19	1,631	8,731	3,256	12.0	64.1	23.9
20	1,620	8,646	3,343	11.9	63.5	24.6
21	1,618	8,497	3,436	11.9	62.7	25.4
22	1,646	8,467	3,503	12.1	62.2	25.7
23	1,709	8,522	3,547	12.4	61.9	25.7
24	1,788	8,478	3,693	12.8	60.7	26.5
25	1,868	8,332	3,937	13.2	58.9	27.8